沼 建 第 2 2 号 令和05年09月14日

国土交通大臣 殿

沼津市長

## 社会資本総合整備計画の変更について

令和05年01月26日 付け 沼建第34号 で提出した、社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資	本総合整備	計画	社会資本整備総合交	<u> 付金</u>						•	令和05年01月	26E
計画の名称	広域拠点都市と	:して活発な交	で流を促す魅力あふれるまちづく	( ı)								
計画の期間	平成31年度	~ 令和	005年度 (5年間)							重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市											
計画の目標	本市は、古く	から道路、鋭	<b>失道、海上交通の拠点としての</b> 均	b理的優位性を活かし、	様々な都市機能が集積し	した県東部地域の交流の中心地	として発展してきた。今後	も、県東部地域 <i>0</i>	)交流拠点としての役割を打	担い、人、物、情報の活	発な往来を	
	促すためにも、	鉄道駅、高規	見格幹線道路のインターチェンシ	び等、交通拠点間相互 <i>0</i>	D連携を強化し、市内各均	<b>地からそれら交通拠点間相互</b> を	·連携する国道等へのアクセ	ス性を向上させる	道路整備を実施することで	で体系的な交通網を構築す	する。また、	
	交通及び交流拠	点の中心とな	なる沼津駅周辺地区においては、	鉄道高架化や土地区画	画整理による中心市街地の	のより一層の都市基盤強化を行	うい、土地利用の高度化を図 である。	つている。				
	市民及び来訪	i者に円滑な都	郡市交通を提供し、県東部の交流	<b>流拠点のまちとしてふさ</b>	さわしい魅力ある都市空間	間の形成を図る。						
全体事業費	(百万円)	合計 ( A +	B + C + D )	7,097 A	7,097 B	0 C	0 D	0 3	効果促進事業費の割合 C /	( A + B + C + D )	0	%
				_				_				
						計画の成果目標(定量的指標	)					

	計画の成果目標 (定量的指標)								
番号		定量的指標の現況値及び目標値							
自 笛写 	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		(H30末)		(R5末)					
1	各交通拠点間の移動時間短縮及び各交通拠点間を連携する国道等への移動時間短縮								
	道路整備に伴う移動時間の短縮率	0%	%	42%					
	{ 要素事業の移動短縮時間(時間)/ 現況移動時間(時間)} x100 = 移動時間短縮率(%)								
		1	T						
		1	1	T					
		1	T						
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供					

1

		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	車架中	 『施期間(年度)	全体事業費	費用	/m miletrene! —
≰(大)	番号	<del>事業</del> 種別	種別		目接	事業者	種別 1	種別 2	安系とはる事業も	サ栗八台 (延長・面積等)	市区町村石/  港湾・地区名		E他期间(午及) 02 RO3 RO4 RO5			個別施設計画 策定状況
F(X)	田与					<u> </u> される効果			(事業四川)	(延及 面積分)		III31 IKC	02 1103 1104 1103	( [ ( [ ( [ ( [ ( [ ( [ ( [ ( [ ( [ ( [	医皿儿	來是扒儿
		備考	-X11576	D C C  C B	ניונה	C100MX										
	A01-001	街路	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)沼津南一色線ほか	バイパス L=0.77 k m	沼津市			2		-
									1 路線							
		D2 F 11	/田 DJ 2番 B	助事業へ移	<b>2</b> /∓											
ŀ	A04 000					辺海士	S街路	□h 奈东	(初) 比泛亚河田伯	バイパス L=0.93 k m	沼津市			687		<del></del>
	A01-002	田崎	一方文	沼津市	且按	沼津市	5街路	改築	(都)片浜西沢田線	ハイハス L=0.93 K m	12年中			687		-
		R3より	個別補助	助事業へ移												
	A01-003			1	直接	沼津市	市町村	改築	(他)市道2694号線ほか	バイパス L=0.62km	沼津市			504		-
			132				道		1 路線							
									1							
	A01-004	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市町村	改築	(他)市道2698号線ほか	現道拡幅 L=0.36km	沼津市			1,615		-
							道		1 路線							
											l			l.		
	A01-005	送应	一般	沼津市	直接	沼津市	市町村	□ <b>Ь</b> 奈东	(他)市道2697号線ほか	現道拡幅 L=2.12km	沼津市			514		
	AU1-005	追路	一方文	沿洋巾	且按	沿洋巾		以柴		現 担 払   M	沿洋巾			514		-
							道		3路線							
ł	A01-006	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市町村	改築	(他)市道2622号線	歩道整備 L=0.21km	沼津市			50		-
							道									
						I	1	I	T	T	1			1		
	A01-007	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市町村	改築	(2)市道0213号線	現道拡幅 L=0.75km	沼津市			440		-
							道			1		1 1				

	一備	体的に実 諸考 。 。 。 。 路 一	-般 ;	沼津市	直接	事業者 される効果 沼津市	市町村道 市町村道		要素となる事業名 (事業箇所) (2)市道0246-3号線 (1)市道0105号線	事業内容 (延長・面積等) バイパス L=0.38km 路線改良 L=0.73km	市区町村名/港湾・地区名	事業実施 H31 R02		全体事業費 (百万円) 3 367	便益比	個別施設計画 策定状況
A01-0	(2008) 道(2009) 道(2009)	路 -	-般 ;	沼津市	直接	沼津市	市町村									  -  -
A01-0	008 道	路 -	-般 ;	沼津市			市町村									] - 
A01-0	009 道	路 -	-般 ;	沼津市			市町村									-
					直接	沼津市		改築	(1)市道0105号線	路線改良 L=0.73km	沼津市			367		
					直接	沼津市		改築	(1)市道0105号線	路線改良 L=0.73km	沼津市			367		-
A01-0	010 道	1路 -	一般	刀法士												
A01-0	010 道	路 -	一般	л: <del>4</del> +									'			
				沼津市	直接	沼津市	市町村道	改築	(2)市道0275号線	路線改良 L=0.41km	沼津市			562		-
		-														
A01-0	011 街	]路 -	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)金岡浮島線(西沢田2工区)	バイパス L=0.42km	沼津市			1,064		-
		L			1			I	1				I			
A01-0	012 街	ī路 -	一般	沼津市	直接	沼津市	S街路	改築	(都)沼津南一色線ほか 1路線	バイパス L=0.77 k m	沼津市			1,200		-
		D2 - D2I+	伊贝诺	中事業人	<b>夕</b> 仁D4IV		・ル事業の	기 / FI 무네 2년	助事業へ移行							
404.0	_								(他)市道2707号線	バイパス L=0.06km	272 <del>4</del> +			00		T
A01-0	013 道		一般	台洋巾	直接	沼津市	市町村道	以梁	(他)中坦2/0/亏線	ハイハス L=U.U6KM	沼津市			89		-
											小計			7,097		

		事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事第	実施	期間	(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別		間接				(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H31	R02	R03	R04   R05	(百万円)	使益比	策定状況
		備考	実施する	ことによ	り期待る	される効果												
		111111111111111111111111111111111111111									合計					7,097		
					1	ı	1									T		
					1	Ι	1					1				1		
								•										
					1		1					1	I I			1		
							1											Τ
						<u> </u>												

(単位:百万円)

	H31	R02	R03	R04	(十匹:口/川リ)
	1131	NUZ	NO3	1\04	
配分額 (a)	324	443	459	279	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	10	
交付額 (c=a+b)	324	443	459	289	
前年度からの繰越額 (d)	0	191	248	173	
支払済額 (e)	133	386	534	296	
翌年度繰越額 (f)	191	248	173	166	
うち未契約繰越額(g)	0	180	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	28.39	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		当初想定地盤の相違による			
合その理由		工法再検討に不測の日時を			
		要したため			

## 事前評価チェックシート

計画の名称: 広域拠点都市として活発な交流を促す魅力あふれるまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
1.目標の妥当性	
上位計画等と整合性が確保されている。	0
1.目標の妥当性	
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	0
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	
整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性	
定量的指標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性	
日. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容との整合性が確保されている。	0
Ⅱ. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	
十分な事業効果が確認されている。	0
III.計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	
	0
III.計画の実現可能性 関連事業との連携が図られている。	
関連事業との連携が図られている。	0
	T
	Ι
	I

## (参考様式3)参考図面(社会資本整備総合交付金)(第5回変更)

